

## 「七飯町海外交流研修に参加して」

北海道七飯高等学校 教諭 石川 惣一郎

### ☆はじめに

初めてのアメリカでの生活ということもあり、不安と期待を胸にコンコードに向け出発しました。まず私達を迎えてくれたのは、優しく親切なコンコードの人達でした。私は、コンコード・カーライル高校の先生方の中に何人か知っている人もいたので、すぐにとけ込むことができました。

### ☆ホームステイ先にて

ホームステイ先はトムカーティンさんのところでした。何度かお会いしたことがありましたが、体も気持ちも大きな人で人間的にも素晴らしい人です。私は本当にラッキーでした。トムさんの家に着いて驚いたことは、その家の大きさでした。日本では考えられない広さです。さらなる驚きは、翌朝、目覚めた私を七面鳥が迎えてくれたことです。野生の七面鳥が家の周りに毎日来るのです。朝食はというと、彼は私のためにお米まで用意してくれて、さらにそれを炊いて、茶碗山盛りにして私の前に出してくれたのです。アメリカでご飯を食べれるとは思っていませんでした。彼は私がホームステイしている間ずっと朝食にご飯を出してくれました。最初から驚きと感動の連続でした。トムさんには本当に感謝しています。



〈ホストファミリーのカーティン夫妻と〉

### ☆コンコード・カーライル高校にて



〈カーライル高校 音楽の授業風景〉

コンコード・カーライル高校では、デンティ一ノ先生が私達を快く迎えてくれました。私達は、彼の音楽室を中心に様々な授業に参加しました。彼の音楽室は生徒達のまさに憩いの場所でした。ある生徒は気軽にお菓子を食べ、ある生徒は先生の椅子に平気で座る。しかし、なぜか違和感がないのが不思議でした。授業については、とにかく積極的で、先生の話に真剣に耳を傾け、さらに自分達の意見を述べます。先生

方も発言を求めます。授業は選択制で、生徒が教室を移動しなければなりません。移動時間が非常に短く、多くの生徒が授業終了とともに走って移動をします。日本のように友人

とゆっくり話をしている時間などありません。

昼食の時間は生徒によって違うのですが、そこには、どこにでも見られる高校生の姿がありません。図書館の充実ぶりも日本とは比較になりませんが、その数の中の生徒の様子はまるで違います。多くの生徒は勉強に励んでいます。



〈SF (Science Fiction) クラブのメンバーとともに〉

とにかく個々の生徒が時間を有効に使っていることに感心しました。さらに校舎内には、日本に関する多くの掲示物も貼られており、生徒が掲示板などを自由に使い自己表現しているのが見られました。校舎内で初めて出会う先生方も私達に笑顔で挨拶を交わしてくれ、毎日が感動の中で過ぎて行きました。

コンコード・カーライル高校の中に SF クラブというのがあります。私は、この中で一度だけ授業をする機会を頂きました。30分ぐらいでしたが、「おはよう」「こんにちは」などの簡単な日本語を教えました。顧問のナレンバーク先生が日本語に精通していることもあり、多くの生徒は日本語に興味を持っていました。中には、将来、日本の JET プログラムに参加したいという生徒もいました。

#### ★ソロー小学校にて

ソロー小学校では、生徒の元気さに圧倒されながら一日が過ぎて行きました。朝早くからの朝食を含めた職員達の心温まるもてなしに感動しながら周り（図書館内）を見渡すと、地図などを含め、日本あるいは七飯町に関係する多くのものが掲示されていることに気がつきました。数名の教職員が七飯町を訪れていることもあり、話題は尽きませんでした。体育館における私達の歓迎会では、全校生徒がそこに集まっており、そこには様々な肌の色、髪の色の子供達が何の違和感もなく一つにとけ込み私達を歓迎してくれました。そして私達一人一人の自己紹介の言葉に素晴らしいリアクションで応えてくれました。小学生の中には、すでに日本語に興味を持っている生徒もおり、メモを持って真剣に日本語を尋ねていました。



〈ソロー小学校での歓迎会の様子〉

#### ★ボストン・ニューヨーク視察研修

ボストンの景観は、日本では見たことのない素晴らしいものでした。どこへバスを走らせても煉瓦づくりの町並みが我々を迎えてくれます。近代的な中に歴史の素晴ら

しさを残しつつ、何か心落ち着くものを感じさせる都市で、親しみを感じました。

ニューヨークは、船上から様々な姿を見せる自由の女神像から始まり、エンパイアステートビルから見える摩天楼、さらには5番街の雑沓に至るまで、まるで映画の中にでもいるかのような風景の中で、時間があっという間に過ぎて行きました。ボストンの歴史的な町並み、建造物とは対照的な姿を私達に見せてくれました。



〈自由の女神像〉



〈ボストンの景観〉



〈エンパイアステートビルより〉

### ☆最後に

この研修に参加させて頂き、本当に感謝しています。今思うと本当にあっという間に過ぎた11日間でした。アメリカと日本の文化の違い、学校に関しては、授業スタイルの違いなど、活字からは知ることのできない多くの事を体験し、学ぶことができました。この経験を今後の自分の貴重な財産にし、七飯町の発展に役立てたいと思います。加えて、この研修に参加した中学生、高校生においては、この研修で得た知識、経験を将来に生かすとともに、一人でも多くの生徒が、さらに英語に興味を持ち、国際交流などの事業に関わってくれることを望んでいます。

私は、この研修を通じて、人とのコミュニケーションは言葉だけではなく、人間としての気持ちが大切なんだと改めて痛感しました。

最後になりましたが、この研修に関わった七飯町総務課の皆様、さらにはトム・カーティンさんご家族をはじめコンコード・カーライル高校の関係者の皆様に心より感謝を申し上げ、研修報告とさせていただきます。